

令和4年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語)科目：(現代文B) 対象：(第2学年A組～E組)

科目担当者：(A組:浅野 印)(B組:浅野 印)(C組:浅野 印)(D組:浅野 印)(E組:浅野 印))

教科・科目の 指導目標	的確に理解・評価することができ、様々な文章を読んで書き手の描く世界を味わうことができる人間に成長する。課題に対して的確な資料を収集し、表現することができる。また、文中における語句の意味を理解し、自己の表現に役立てることができる。
----------------	--

	前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	読むこと・聞くこと 抽象的な概念理解が必要な評論がやや不得意な傾向にある。学齢相応の語彙力に乏しい。年次、向上はしている。 話すこと 文字を読んで表現することには積極的であるが、自己表現が得意ではない。 書くこと 漢字の読み書き。 簡単な漢字の読み書きができる。	1 漢字の宿題(事前指導)、小テストを実施し、間違えた漢字は必ず練習させる(事後指導)。漢字検定を全員受検させ、3級以上に合格できるように学習させる。 2 ビブリオバトル級内大会、ディベート等グループワークを実施し、考えを言語化し自己表現力を育成する。 3 ゴールデンウィーク、長期休業中に天声人語の書写、評論文の書写などの課題を課し、全員に提出させる。	学年担任と教科担任で一月に一度の打ち合わせ実施、進度の確認及び指導内容の確認を行う。プリント教材なども共有し、質の高い授業を目指して協力し合う。定期考査は共通問題とする。出題内容については教科担当間で十分に話し合い、決定する。 土曜日、放課後、長期休業日の有効活用により、理解力、表現力、語彙力を育成する。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			